

平成22年度

事業報告書及び決算書

財団法人 千葉県消防協会

事業報告書

千葉県消防協会は、県下各市町村の消防職員・消防団員の福利厚生、消防力の充実強化、消防知識の向上及び消防活動の強化を図るとともに、消防防災思想の普及徹底等を期するため当初の事業計画に基づき各種事業を実施した。

特に近年は、大規模な自然災害や予測しがたい事故など、住民の安全を脅かす災害の発生は後を絶たず、その態様も複雑多様化するなか、住民の消防に寄せる期待は一段と高まっており、総合的な消防防災対策の充実、強化が求められている。

このような状況を踏まえ、消防防災関係機関と密接な連携のもとにその支援と協力を得て、防災思想普及事業をはじめ教養訓練事業、弔慰救済事業、報償事業、消防職員・消防団員の福利厚生、自主防災組織の支援事業などを実施した。

1. 防災思想普及事業

(1) 千葉県防災センターを拠点とした普及啓発事業

県民の防災に対する意識の向上を図り、災害時の自主的な対応力を育てるための千葉県防災教育施設である千葉県西部防災センター(松戸市)において、来館された個人団体等に対しビデオやスライドの上映及び地震や消火器使用の体験等を通じて防災思想の普及啓発を図った。

なお、休館中の千葉県中央防災センターについては、起震車及び防災関係図書の貸し出しなどを行った

・平成22年度 千葉県西部防災センター入館者数 22,426人

(2) 機関誌「消防千葉」の発行

広く地域住民の消防に対する理解と協力を得るとともに、消防防災思想のなお一層の普及を図るため機関誌「消防千葉」を年間8回発行し、市町村をはじめ関係機関等に配布した。

ア 市町村関係	32,000部
イ 官公署	3,000部
ウ 県内外各種団体・学校・図書館等	5,000部
計	40,000部

(3) 第62回千葉県消防大会の開催

消防職員及び消防団員の士気の高揚を図り、消防防災体制の確立を期することを目的に消防・防災に功労・功績のあった消防機関及び消防功労者の表彰式を千葉県と共催で平成23年3月18日に実施する予定であったが、東日本大震災の影響から中止となった。

なお、受章者の名簿を配付した。

《受 章 者》

- ① 消防庁長官表彰
- | | |
|---------|-------|
| 表 彰 旗 | 1 団体 |
| 功 勞 章 | 1 2 人 |
| 永年勤続功労章 | 9 1 人 |
- ② 千葉県知事表彰
- | | |
|--------------------|-------|
| 特別功労章 | 1 4 人 |
| 永年勤続功労章 | 5 8 人 |
| 感謝状 (内助功労者) | 4 7 人 |
| 千葉県石油コンビナート等防災関係表彰 | 2 機関 |
- ③ 日本消防協会会長表彰
- | | |
|----------|---------|
| 功 績 章 | 3 3 人 |
| 精 績 章 | 8 0 人 |
| 勤 続 章 | 3 0 2 人 |
| 永年勤続職員表彰 | 2 人 |
- ④ 千葉県消防協会会長表彰
- | | |
|-------------|---------|
| 特別功労章 | 7 人 |
| 永年勤続功労章 | 2 4 4 人 |
| 感謝状 (内助功労者) | 1 9 3 人 |
| 功 績 章 | 3 3 人 |
| 表 彰 状 | 6 人 |
| 特 別 表 彰 | 2 団体 |
| 感 謝 状 | 4 人 |
- ⑤ 千葉県少年婦人防火委員会会長表彰
- ・優良幼年消防クラブの部
八千代市 学校法人明青学園明青幼稚園
 - ・優良少年消防クラブの部
千葉市 大巖寺地区少年消防クラブ
 - ・優良婦人防火クラブの部
松戸市 栄町一丁目女性防火クラブ
- ⑥ そ の 他
- | | |
|------------------|-------|
| 春 秋 の 叙 勲 | 2 4 人 |
| 第 1 4 回危険業務従事者叙勲 | 2 6 人 |
| 第 1 5 回危険業務従事者叙勲 | 2 7 人 |
| 春 秋 の 褒 章 | 3 人 |
| 文化の日 知 事 表 彰 | 3 人 |

(4) 全国火災予防運動の実施

総務省消防庁の提唱により実施される全国火災予防運動を、千葉県と共催により実施。

ア 秋季全国火災予防運動 平成22年11月9日から11月15日まで

イ 春季全国火災予防運動 平成23年3月1日から3月7日まで

ウ 重点目標 ・住宅防火対策の推進 (秋季・春季)

・放火火災・連続放火火災防止対策の推進 (秋季・春季)

・特定防火対象物等における防火安全対策の徹底 (秋季・春季)

・製品火災の発生防止に向けた取組の推進 (秋季・春季)

・林野火災予防対策の推進 (春季)

(5) 第31回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練の実施

県民の防災意識の高揚を図りもって県民の生命・財産を災害から守り、安全で安心な生活を確保することを目的に第31回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練を千葉県及び君津市・富津市・木更津市と共催により実施した。

ア 実施日 平成22年9月1日

イ 開催場所 主会場：小糸川漁港隣接地

海ほたる会場：東京湾アクアライン「海ほたるパーキングエリア」

ウ 参加機関 約235機関

エ 参加人員 約8,500人

2. 教育訓練事業

消防力の質的な向上を図るとともに、実践訓練及び基礎体力の練成等消防職員・消防団員の教育訓練の充実に資するため、修学奨励金等の交付、消防団員指導員研修及び表彰等を行った。

(1) 修学奨励金等の交付

消防職員及び消防団員の資質の向上を図るため、消防大学校及び千葉県消防学校への入校を奨励し、所定の課程を終了または卒業した者、また日本消防協会の実施する所定の研修を修了した者に対して、千葉県消防協会修学奨励金等の贈与規程に基づき修学奨励金等を交付した。

本年度の交付状況は次のとおりである。

修学課程		修学人員	修学奨励金等
消防大学校	各課程	11	記念品
県消防学校	初任科	239	記念品
	専科	434	記念品
	消防団訓練	89	記念品
日本消防協会	①消防団幹部候補 中央特別研修	4	20,000円
	②消防団幹部研修	1	5,000円
計		778	

(2) 奨励表彰の実施

消防職員及び消防団員の士気の高揚と永年勤続を奨励するため、各市町村出初式において次のとおり表彰を行った。

・功 勞 章 125人 ・精 勤 章 388人

(3) 消防団員指導員研修の実施

この研修は、昭和44年度から（財）日本消防協会の受託事業として実施している。本年度も千葉県消防学校とともに、組織活動を行う消防団員として必要な基礎的技術訓練及び火災防ぎよ・現場指揮の向上を図り消防団運営の活性化に資するため次のとおり実施した。

ア 実施日 平成22年9月18日から9月20日まで
イ 場 所 千葉県消防学校
ウ 研修者 62人
エ 訓練内容 訓練を重点とした研修

(4) 現地訓練の奨励

消防団員は日常様々な仕事に従事しており、多数の人員を千葉県消防学校に入校させ教育訓練することが困難であることから現地訓練の奨励に努力した。

(5) 福祉増進事業助成

消防団員の健康増進及び公務による事故防止等に資するため、前年度に引き続き（財）日本消防協会の消防団員福祉共済制度による助成を受け、健康器具等を購入し各消防団に配布するとともに、消防団が実施するスポーツ行事等開催に要する経費の一部を助成した。

ア 健康器具等の購入配布
 体重体脂肪計 48個
 デジタル自動血圧計 48個
イ スポーツ行事助成
 14消防団（1消防団 50,000円以内）

3. 改良研修事業

(1) 第46回千葉県消防操法大会の開催

消防の任務の重要性をお互いに確認するとともに、平素の訓練の成果を発表し消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、地域防災体制の確立を期することを目的として千葉県と共催で開催した。

ア 実施日 平成22年7月24日
イ 場 所 千葉県消防学校 屋外訓練場
ウ 大会成績
① ポンプ車の部 出場12団
 最優秀賞（消防庁長官表彰旗） 浦安市消防団
② 小型ポンプの部 出場12団
 最優秀賞（日本消防協会会長表彰旗） 印西市消防団

(2) 第22回全国消防操法大会への参加

総務省消防庁及び(財)日本消防協会の主催による全国消防操法大会が、平成22年11月12日 愛知県蒲郡市の蒲郡ボートレース場(南駐車場)で開催され、各都道府県からそれぞれ代表が出場した。

本県からは、印西市消防団が県代表として出場した。

(3) 県下消防長・消防団長会議の開催

県下消防長・消防団長会議を平成22年7月15日から16日の両日にわたり鴨川市において開催した。当消防協会から事業計画、予算等の説明を行うとともに、千葉県消防地震防災課、千葉県消防学校及び(財)日本消防協会から当面する諸問題等について提案審議を行った。

なお、会議終了後「魅力ある消防団づくりについて」と題して、長野県消防協会参与五十嵐幸男氏からの講演が行われた。

(4) 支部常務理事・事務主任者会議の開催

支部常務理事及び事務主任者会議を平成22年4月13日千葉市において開催した。千葉県消防地震防災課、千葉県消防学校及び当消防協会から実施する諸事業及び連絡事項等を説明するとともに研究討議を行った。

4. 弔慰救済事業

(1) 第46回消防殉職者慰霊祭の実施

昭和4年3月「千葉県殉職消防組員警防団員の碑」として霊を祀って以来、合祀された殉職者の慰霊は消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防(局)本部・消防団時代46柱、消防協力者6柱の92柱をかぞえるに至っている。

慰霊碑前で合同慰霊祭を執り行い、郷土防災の使命を果たしその職に殉じた御霊を慰め、あわせて消防士気の高揚と防災思想の普及に努めた。

ア 主 催	財団法人千葉県消防協会
イ 後 援	千葉県 ・ 財団法人日本消防協会
ウ 実 施 日	平成22年10月28日
エ 場 所	千葉県消防学校屋内訓練場
オ 参加人員	約350人

(2) 傷病見舞金の贈呈

寄附行為施行細則に基づき職務のため傷病を受けた者等に対し、本年度も次のとおり見舞金を贈呈した。

傷病見舞金	13人	277,000円
-------	-----	----------

(3) 災害見舞金の贈呈

東日本大震災において長時間わたって活動された消防団に贈呈した。

5. 報 償 事 業

寄附行為施行細則に基づき、退団された会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、本年度も次のとおり金盃・感謝状を贈呈した。

金盃及び感謝状交付の状況

(単位：人)

支部名	人 数	支部名	人 数
千 葉	97	長 生	102
東葛飾	122	夷 隅	—
印 旛	8	安 房	74
香 取	154	君 津	17
海 匝	36		
山 武	—	計	610

6. 福祉共済及び消防互助年金等の制度への加入促進

(1) (財)日本消防協会による共済制度で、公務以外の災害や疾病に対する保障も兼ね備え、消防活動にのみならず一家を支える働き手の中心である消防職員及び消防団員の健康管理に対する施策の推進を図り、消防関係者の相互扶助共済として連帯の強化に寄与している本制度への加入促進を図った。

本県では、43消防団の消防団員(25,341人)、消防職員7団体(1,071人)及び当消防協会(13人)が加入している。

平成22年度の本制度に基づく共済金の交付実績は、次のとおりである。

遺族援護金	13件	12,820,000円
生活援護金	1件	1,000,000円
障害見舞金	3件	2,000,000円
入院見舞金	32件	2,251,500円

(2) 火災共済制度への加入促進

生活協同組合全日本消防人共済会による全国の消防職員、消防団員及び消防関係者等の加入者の不慮の災害による損害を補償するための共済制度であり、この制度への加入促進を図った。本県では、消防職団員等3,220人がこの制度に加入している。

平成22年度の共済金交付額は、1件で97,500円である。

(3) 婦人消防隊員等福祉共済制度への加入促進

婦人消防隊員等の福祉厚生を図るため、(財)日本消防協会が平成4年度から実施している共済制度である。本制度は、隊務以外の災害や疾病に対する保障も兼ね備えた共済制度であり、本県では、4団体の婦人防火・消防クラブ員481人が加入している。

平成22年度の本制度に基づく共済金の交付実績は、次のとおりである。

弔 慰 金	2件	600,000円
入院見舞金	1件	41,400円

(4) 消防互助年金制度への加入促進

消防職員・消防団員の相互努力によりつくり育てて、豊かな老後と安定した生活を築くため、(財)日本消防協会が実施する消防互助年金制度への加入促進を図った。

本県では、226名が加入している。

7. 千葉県少年婦人防火委員会及び千葉県婦人防火クラブ連絡協議会事業の助成

婦人消防等自主防災組織が実施する防火、防災活動を助長し、災害の減少及び被害の軽減等を図るため活動費を助成した。千葉県少年婦人防火委員会は、春秋の全国火災予防運動の諸行事の一環として、千葉県と共催によるポスター展を実施するとともに優良な幼年・少年消防クラブ及び婦人防火クラブを表彰した、

また千葉県婦人防火クラブ連絡協議会は、婦人防火クラブの指導員を対象とした研修会の実施及び各消防機関が実施する防災思想の普及啓発活動等に協力した。

8. 消防育英会による奨学金

(財)消防育英会が実施する奨学金制度で、消防職員及び消防団員が殉職または公務上身体に障害が残った場合及び県民が消防の職務に協力援助し同様の被災をした場合、殉職者等の子弟に対し奨学金等を給付する制度である。

平成22年度は、本県で3人の奨学生がこの奨学金を受給している。

収支計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会 計： 一般会計

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I . 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	1,060,000	1,061,105	△1,105	
(2) 特定資産運用収入	0	0	0	
(3) 会費収入	350,000	350,000	0	
(4) 補助金等収入	55,400,000	55,593,819	△193,819	
(5) 事業収入	606,000	570,000	36,000	
(6) 負担金収入	12,552,000	12,552,000	0	
(7) 寄付金収入	10,000	0	10,000	
(8) 雑収入	650,000	620,689	29,311	
(9) 他会計からの繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入計	70,628,000	70,747,613	△119,613	
2. 事業活動支出				
(1) 防災思想普及事業費支出	40,320,000	39,794,945	525,055	
(2) 教養訓練費支出	14,714,000	13,930,534	783,466	
(3) 弔慰救済費支出	1,800,000	1,765,285	34,715	
(4) 報償費支出	3,750,000	3,341,188	408,812	
(5) 管理費支出	7,249,000	5,996,550	1,252,450	
(6) 負担金支出	1,150,000	1,147,701	2,299	
(7) 他会計へ繰入金支出	4,500,000	4,500,000	0	
事業活動支出計	73,483,000	70,476,203	3,006,797	
事業活動収支差額	△2,855,000	271,410	△3,126,410	
II . 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 基本財産取崩収入	0	0	0	
(2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 基本財産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	

収支計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会 計： 一般会計

科 目	予算額	決算額	差異	備考
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出の部	100,000			
	0		100,000	
当期収支差額	△2,955,000	271,410	△3,226,410	
前期繰越収支差額	3,862,018	3,862,018	0	
次期繰越収支差額	907,018	4,133,428	△3,226,410	

正味財産増減計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会計名：1 一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,061,105	1,091,104	△29,999
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	350,000	350,000	0
受取補助金等	55,593,819	55,552,196	41,623
事業収益	570,000	606,000	△36,000
受取負担金	12,552,000	12,572,000	△20,000
受取寄付金	0	0	0
雑収益	620,689	313,678	307,011
他会計からの繰入額	0	0	0
経常収益計	70,747,613	70,484,978	262,635
(2) 経常費用			
防災思想普及事業費	39,794,945	43,145,865	△3,350,920
教養訓練費	13,930,534	13,316,436	614,098
弔慰救済費	1,765,285	1,391,024	374,261
報償費	3,341,188	3,678,834	△337,646
管理費	5,996,550	6,815,230	△818,680
負担金	1,147,701	1,083,921	63,780
他会計への繰出額	4,500,000	0	4,500,000
経常費用計	70,476,203	69,431,310	1,044,893
当期経常増減額	271,410	1,053,668	△782,258
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
災害損失	0	0	0

正味財産増減計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会計名：1 一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
一般正味財産期首残高	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	271,410	1,053,668	△782,258
一般正味財産期首残高	112,962,018	111,908,350	1,053,668
一般正味財産期末残高	113,233,428	112,962,018	271,410
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末合計額	113,233,428	112,962,018	271,410

貸借対照表

平成23年03月31日現在

会計名： 1 一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
流動資産	6,989,687	5,590,115	1,399,572	
現金預金	6,989,687	5,590,115	1,399,572	
現金	0	0	0	
普通預金	6,989,687	5,590,115	1,399,572	
流動資産合計	6,989,687	5,590,115	1,399,572	
2. 固定資産				
固定資産	116,623,425	116,664,874	△41,449	
基本財産	109,100,000	109,100,000	0	
投資有価証券	95,259,837	95,259,837	0	
定期預金	13,840,163	13,840,163	0	
特定資産	7,523,425	7,564,874	△41,449	
弔慰引当資産	7,128,256	6,828,256	300,000	
備品積立資産	395,169	736,618	△341,449	
固定資産合計	116,623,425	116,664,874	△41,449	
資産合計	123,613,112	122,254,989	1,358,123	
II 負債の部				
1. 流動負債				
流動負債	2,856,259	1,728,097	1,128,162	
未払金	2,856,259	1,728,097	1,128,162	
預り金	0	0	0	
流動負債合計	2,856,259	1,728,097	1,128,162	
2. 固定負債				
固定負債	7,523,425	7,564,874	△41,449	
弔慰引当金	7,128,256	6,828,256	300,000	
その他引当金	395,169	736,618	△341,449	
固定負債合計	7,523,425	7,564,874	△41,449	
負債合計	10,379,684	9,292,971	1,086,713	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産	0	0	0	
国庫補助金	0	0	0	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	

貸借対照表

平成23年03月31日現在

会計名： 1 一般会計

(単位：円)

科目	当年度	前年度	差異	備考
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
指定正味財産合計	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	113,233,428	112,962,018	271,410	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
正味財産合計	113,233,428	112,962,018	271,410	
負債および正味財産合計	123,613,112	122,254,989	1,358,123	

収支計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会 計： 特別会計

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 特定資産運用収入	0	0	0	
(2) 補助金等収入	0	0	0	
(3) 事業収入	8,900,000	9,061,916	△161,916	
(4) 負担金収入	600,000	611,152	△11,152	
(5) 雑収入	1,000	5,907	△4,907	
(6) 他会計からの繰入金収入	4,500,000	4,500,000	0	
事業活動収入計	14,001,000	14,178,975	△177,975	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	6,281,000	5,502,215	778,785	
(2) 管理費支出	1,620,000	1,539,009	80,991	
(3) 他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	7,901,000	7,041,224	859,776	
事業活動収支差額	6,100,000	7,137,751	△1,037,751	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
(2) 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	7,000,000	7,000,000	0	
(2) 固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	7,000,000	7,000,000	0	
投資活動収支差額	△7,000,000	△7,000,000	0	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出の部	0			

収支計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会 計： 特別会計

科 目	予算額	決算額	差異	備考
予備費支出	0		0	
当期収支差額	△900,000	137,751	△1,037,751	
前期繰越収支差額	953,607	953,607	0	
次期繰越収支差額	53,607	1,091,358	△1,037,751	

正味財産増減計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会計名：2 特別会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
事業収益	9,061,916	8,815,467	246,449
受取負担金	611,152	612,942	△1,790
雑収益	5,907	10,207	△4,300
他会計からの繰入額	4,500,000	0	4,500,000
経常収益計	14,178,975	9,438,616	4,740,359
(2) 経常費用			
事業費	5,502,215	8,904,604	△3,402,389
管理費	2,147,912	2,297,870	△149,958
他会計への繰出額	0	0	0
経常費用計	7,650,127	11,202,474	△3,552,347
当期経常増減額	6,528,848	△1,763,858	8,292,706
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
特定資産評価益	0	0	0
特定預金取崩益	0	1,300,000	△1,300,000
経常外収益計	0	1,300,000	△1,300,000
(2) 経常外費用			
特定資産評価損	0	0	0
特定預金引当損	7,000,000	0	7,000,000
災害損失	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
経常外費用計	7,000,000	0	7,000,000
当期経常外増減額	△7,000,000	1,300,000	△8,300,000
当期一般正味財産増減額	△471,152	△463,858	△7,294
一般正味財産期首残高	14,470,330	14,934,188	△463,858
一般正味財産期末残高	13,999,178	14,470,330	△471,152
II 指定正味財産増減の部			

正味財産増減計算書

平成22年04月01日から平成23年03月31日まで

会計名：2 特別会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
特定資産運用益	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末合計額	13,999,178	14,470,330	△471,152

貸借対照表

平成23年03月31日現在

会計名： 2 特別会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
流動資産	2,148,744	2,520,828	△372,084	
現金預金	2,148,744	2,520,828	△372,084	
現金	0	0	0	
普通預金	2,148,744	2,520,828	△372,084	
未収金	0	0	0	
流動資産合計	2,148,744	2,520,828	△372,084	
2. 固定資産				
固定資産	36,084,221	29,693,124	6,391,097	
特定資産	23,176,401	16,176,401	7,000,000	
会館準備積立資産	23,176,401	16,176,401	7,000,000	
その他の固定資産	12,907,820	13,516,723	△608,903	
建物	12,383,346	12,992,249	△608,903	
工作物	340,000	340,000	0	
車両運搬具	184,474	184,474	0	
定期預金	0	0	0	
固定資産合計	36,084,221	29,693,124	6,391,097	
資産合計	38,232,965	32,213,952	6,019,013	
II 負債の部				
1. 流動負債				
流動負債	1,057,386	1,567,221	△509,835	
未払金	757,386	1,267,221	△509,835	
預り金	0	0	0	
敷金預り金	300,000	300,000	0	
流動負債合計	1,057,386	1,567,221	△509,835	
2. 固定負債				
固定負債	23,176,401	16,176,401	7,000,000	
会館準備積立引当金	23,176,401	16,176,401	7,000,000	
固定負債合計	23,176,401	16,176,401	7,000,000	
負債合計	24,233,787	17,743,622	6,490,165	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産	0	0	0	
国庫補助金	0	0	0	
地方公共団体補助金	0	0	0	

貸借対照表

平成23年03月31日現在

会計名： 2 特別会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異	備考
民間補助金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
指定正味財産合計	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	13,999,178	14,470,330	△471,152	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
正味財産合計	13,999,178	14,470,330	△471,152	
負債および正味財産合計	38,232,965	32,213,952	6,019,013	